



いわき市

主催 いわき市教育委員会

問合せ先 0246-22-1111(代)

いわき生徒会長サミット 長崎派遣事業



＜長崎派遣事業の目的＞ 本事業は、非核平和都市であることを宣言するいわき市の子どもたちが、核兵器の廃絶と平和を希求する気持ちを高めるとともに、ふるさとの復興・創生を担う人材となる意欲と実践力を身に付けることを目的としています。平成29年度は、27名の中学生を派遣し、ピースフォーラムへの参加をはじめとする、原爆ホームの訪問や長崎市内の中学生との交流活動を行いました。

事前研修会

7月の毎週末に、市文化センターにおいて、参加者全員でピースフォーラムや交流活動参加のための事前研修会を行いました。私たちが考える平和とは何か、長崎市民の方々が考える平和との違いは何か、話し合いやプレゼンテーション資料作成を発表直前まで取り組みました。



青少年ピースフォーラムへの参加

ピースフォーラムの参加生徒のほとんどが、語り部の方のお話について感想を述べていました。「写真や映像で見聞きしたり、頭で理解したりするよりも、実際に経験した方のお話は、ずっしりと心に響いてきました。当時の悲惨な状況が目に見えてくるようでした。長崎派遣の中で一番深く私の心に刻まれました。(生徒感想より)」



実践報告会

いわき市長
清水 敏男 様



12月23日、市文化センターの大ホールにて、いわき生徒会長サミットの実践報告会が市民へ向けに行われました。毎年、年間を通じて行っている事業について、体験や活動を通して自分たちが学んだことや成長した様子を6つのグループに分かれて報告しています。来場者からの評価が最も高かった発表は、今年も長崎派遣の発表でした。発表の中で、子どもたちは次のように長崎派遣を振り返っています。「交流を通して、長崎県の方々だからこそ気付くことや思っていることに耳を傾け、受けとめ、考えたことを互いに伝え合いながら、平和への想いを深めることができました。…私たちにできることは何だろう、過去や現在をよく知り、考えることから未来の平和が始まる。つなげていくのは私たちに他なりません。」